



## ありがとうの力

小野町立浮金中学校 1年 藤井 万希子

「ありがとう。」

この言葉を言われて、嫌な気持ちになる人はきつといないでしょう。どんな時も、どんな人でも言われてうれしい言葉。私はこの言葉が好きです。ですから、どんな些細なことに対して、たくさん使うようにしています。

以前の私は、そのようなことを考えて『ありがとう』と言っていたわけではありません。しかし、家の手伝いをしていた時にかげられた母からの「ありがとう。」の一言が好きでした。何気ない言葉なのですが、「やってよかった。」という気持ちになります。不思議だと感じていました。

そんな時、曾祖母との関わりが、私の疑問に答えをくれたのです。

今は体が弱っていて病院に入院しています。この曾祖母の介護の手伝いを、私は夏休み中にしたことがあります。さまざま細かい作業がありました。食事をする時の手伝い、歩行の介助など。面倒なことが多く、私は正直、うんざりしていました。「どうして、私がしなくてはいけないの？子供の私に満足な介護ができるわけがないのに。他の人に頼めばいいのに。」そんな思いでいっぱいでした。もしかしたら口に出さなくても、態度に出ているのかも知れません。夕方になり、私が帰ろうとすると曾祖母が笑顔で言ったのです。

「万希子、今日はありがとう。」

この一言で、私の中にくすぶっていた不満や疲れが飛んでいきました。嬉しい気持ちで一

杯になりました。子供の手伝いですから、上手くできないことや、至らないこともあったでしょう。曾祖母の思うとおりになっていないこともあったかも知れませんが、曾祖母は感謝してくれている。私の力でも、曾祖母が気持ちよくなれる手伝いはできるのだと考えると自分に自信が持てるようになりました。本当にやって良かった。心からそう思えました。

最近、未成年者による犯罪や非行が増えてきています。うまくいかないことが多いと、自信がなくなり、自分を大切にできなくなるのでしょうか。「自分なんか」と思ってしまうのです。私はこのような時こそ、言葉の力が発揮されるのではないかと思います。例えば『ありがとう』です。ちょっとしたことで感謝の言葉をかけられることによつて、気持ちが明るくなると思います。その一言で「自分なんか」と思っていた心が、「自分にもできる」という自信に繋がっていきます。自分にもこん

な事ができるんだ。自分にも人から感謝されることがあるんだ。自信を持つことができれば、自分らしく生きることができるようになるはずですよ。こうしたことが積み重なっていけば、未成年者の犯罪や非行は減っていくのではないかと思います。

私は、『ありがとう』という言葉には力があると思います。苦しい時、悲しい時、他者からの感謝の言葉は自信と勇気を与えてくれます。逆に、私がこの言葉をかけることによつて、救われる人や元気になる人がいるかもしれません。幸せの気持ちが連鎖していくのです。そう考えると『ありがとう』の力は無限大です。

私は、これからも感謝の気持ちを言葉にしていくつもりです。周囲のお世話になつてくれる人々、私を支えてくれる人、大好きな人へ「ありがとう。」と。こうしていくことで明るい未来が少しずつ広がっていく。私はそう信じています。